

カリキュラムマップ (カリキュラムとディプロマ・ポリシーとの対応関係一覧表)

大妻女子大学  
令和8年度用

<学部・学科・専攻名>

学部名	人間共生学部
学科名	福祉学科
専攻名	

各DPと授業の到達目標との関係  
◎：特に関係する ○：関係する

科目名	単位	配当年次	各DPと授業の到達目標との関係		
			DP 1	DP 2	DP 3
			<知識・技能> 1. 生活を多面的に観察し、課題を捉えるために不可欠な社会福祉学・介護福祉学の専門的知識を有している。 2. 情報化や国際化に対応できる実践力を有している。	<思考力・判断力・表現力等> 1. 論理的思考力・判断力・表現力に基づき、福祉に関する課題解決能力を身につけ、活用できる能力を有している。 2. 高い倫理性を備え福祉に関する専門的な判断力と技術を有している。	<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度> 1. 多様な文化や変化する社会に対応し、他者と協働できるコミュニケーション能力を有している。 2. 福祉に関する多様な課題に対応できる能力を有している。
人体の構造・機能・疾病	2	1	○		○
介護福祉論	2	1	◎		○
ソーシャルワーク論Ⅰ-A	2	1		◎	○
高齢者福祉論	2	2	◎		○
社会保障Ⅰ	2	3	◎		○
社会福祉学基礎セミナーⅠ	2	1	◎	○	
社会福祉学基礎セミナーⅡ	2	1		◎	○
社会福祉学セミナーⅠ	2	3		◎	○
社会福祉学セミナーⅡ	2	3		○	◎
社会福祉学セミナーⅢ	2	4		○	◎
社会福祉学セミナーⅣ	2	4		○	◎
卒業論文	4	4	○	◎	○
健康福祉論	2	1	◎	○	
心理学と心理的支援	2	1	◎	○	
社会学と社会システム	2	1	◎	○	
社会福祉調査の基礎	2	2		◎	○
ソーシャルワーク論Ⅰ-B	2	2	○	◎	
地域福祉論Ⅰ	2	2	◎		○
児童・家庭福祉論	2	2	◎		○
障害者福祉論	2	2	◎		○
女性とキャリア	2	234		○	◎
医療福祉論	2	3	◎		○
社会保障Ⅱ	2	3	◎		○
ソーシャルワーク論Ⅱ-A	2	2	○	◎	
ソーシャルワーク論Ⅱ-B	2	2	○	◎	
公的扶助論	2	2	◎		○
刑事司法と福祉	2	2	◎		○
ソーシャルワーク論Ⅲ-A	2	3	○	◎	
ソーシャルワーク論Ⅲ-B	2	3	○	◎	
権利擁護と成年後見制度	2	3	◎		○
地域福祉論Ⅱ	2	3	◎		○
福祉サービスの組織と経営	2	3	◎		○
相談援助演習Ⅰ	1	2		◎	○
相談援助演習Ⅱ	1	2		◎	○
相談援助演習Ⅲ	1	3		◎	○
相談援助演習Ⅳ	1	3		◎	○
相談援助演習Ⅴ	1	4		◎	○
ソーシャルワーク実習指導	1	2	◎		○
相談援助実習事前指導	1	34		○	◎
相談援助実習事後指導	1	34		○	◎
相談援助実習Ⅰ	1	234		◎	○

カリキュラムマップ (カリキュラムとディプロマ・ポリシーとの対応関係一覧表)

大妻女子大学  
令和8年度用

<学部・学科・専攻名>

学部名	人間共生学部
学科名	福祉学科
専攻名	

各DPと授業の到達目標との関係  
◎：特に関係する ○：関係する

科目名	単位	配当年次	各DPと授業の到達目標との関係		
			DP 1	DP 2	DP 3
			<知識・技能> 1. 生活を多面的に観察し、課題を捉えるために不可欠な社会福祉学・介護福祉学の専門的知識を有している。 2. 情報化や国際化に対応できる実践力を有している。	<思考力・判断力・表現力等> 1. 論理的思考力・判断力・表現力に基づき、福祉に関する課題解決能力を身につけ、活用できる能力を有している。 2. 高い倫理性を備え福祉に関する専門的な判断力と技術を有している。	<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度> 1. 多様な文化や変化する社会に対応し、他者と協働できるコミュニケーション能力を有している。 2. 福祉に関する多様な課題に対応できる能力を有している。
相談援助実習Ⅱ	4	34		◎	○
老年医学	2	2	○		○
こころとからだのしくみA	2	2	○		○
こころとからだのしくみB	2	2	○		○
発達と老化の理解	2	2	○		○
認知症の理解	2	3	○		○
障害の理解	2	2	○		○
生活と文化	2	2	○		○
介護とケアマネジメント	2	23		○	◎
介護予防	2	3		◎	○
介護と自立支援	2	3	○	○	
介護とリスクマネジメント	2	4	○	◎	
介護過程Ⅰ	2	12		◎	○
介護過程Ⅱ-A	2	2		◎	○
介護過程Ⅱ-B	1	3		◎	○
介護過程Ⅲ	1	3		◎	○
コミュニケーション技術A	2	2		◎	○
コミュニケーション技術B	2	3		◎	○
生活支援技術A-I	1	1		◎	○
生活支援技術A-II	1	2		◎	○
生活支援技術B	2	2		◎	○
生活支援技術C	2	2		◎	○
生活支援技術D	2	2		◎	○
生活支援技術E	2	3		◎	○
介護総合演習Ⅰ	1	2		○	◎
介護総合演習Ⅱ	1	2		○	◎
介護総合演習Ⅲ	1	3		○	◎
介護総合演習Ⅳ	1	4		○	◎
介護実習入門	1	12		◎	○
介護実習Ⅰ	2	2		◎	○
介護実習Ⅱ	2	2		◎	○
介護実習Ⅲ	4	3		◎	○
介護実習Ⅳ	1	4		◎	○
医療的ケアⅠ	2	3		◎	○
医療的ケアⅡ	2	4		◎	○
医療的ケアⅢ	2	4		◎	○
福祉レクリエーション論	2	1234	○	○	
福祉レクリエーション援助論	2	234	○	○	
福祉レクリエーション援助技術	1	234		◎	○
社会的養護論	2	2	○		○
多文化共生論	2	234	○		○
多文化理解コミュニケーション	2	234	○		◎
ICTの理解	2	234	○		○
女性支援論	2	34	○		○

カリキュラムマップ (カリキュラムとディプロマ・ポリシーとの対応関係一覧表)

大妻女子大学  
令和8年度用

<学部・学科・専攻名>

学部名	人間共生学部
学科名	福祉学科
専攻名	

各DPと授業の到達目標との関係

◎：特に関係する ○：関係する

科目名	単位	配当年次	各DPと授業の到達目標との関係		
			DP 1	DP 2	DP 3
			<知識・技能> 1. 生活を多面的に観察し、課題を捉えるために不可欠な社会福祉学・介護福祉学の専門的知識を有している。 2. 情報化や国際化に対応できる実践力を有している。	<思考力・判断力・表現力等> 1. 論理的思考力・判断力・表現力に基づき、福祉に関する課題解決能力を身につけ、活用できる能力を有している。 2. 高い倫理性を備え福祉に関する専門的な判断力と技術を有している。	<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度> 1. 多様な文化や変化する社会に対応し、他者と協働できるコミュニケーション能力を有している。 2. 福祉に関する多様な課題に対応できる能力を有している。
アロマセラピー	2	1234	◎		○
健康と栄養	2	23	○		◎
多文化理解フィールドワーク事前・事後	2	234	○		◎
多文化理解フィールドワーク	1	234	○		◎
社会福祉専門実習	3	4		◎	○
社会福祉学特別講義	2	4	○		◎
介護福祉学特別講義	2	4	○		◎
ビジネス英語	2	234	◎		○
英語コミュニケーション	2	234	◎		○
Malaysian Cultural Camp I	2	1234	◎		○
Malaysian Cultural Camp II	4	1234	◎		○
異文化理解 I	2	1234	◎		○
異文化理解 II	2	1234	◎		○